



岩美病院



浜崎大輔技師

師（2名）と認定技師（女性）が担当していますので、精度の高い検査が実施されています。

検査関係は他に、CTを使つての肺ドック、MRIを使つての脳ドックを行つています。それらの検査結果は放射線科専門医が最終読影し、当院の人間ドック担当医師から受診された方々へ通知しております。

このCT・MRIは、言うまでもなくたいへん高価で高度な医療機器ですが、救急医療や精密検査には無くてはならない装置です。特にMRIは新病院から新規導入されました。早期の脳梗塞、脳内血管の狭窄や瘤（こぶ）血管の内側が狭くなつたりこぶがでたりする（また普通のX線撮影では写し出せない細かな骨折、さらには椎間板ヘルニアなど、全身のありとあらゆるところの診断に威力を発揮しています。当院のMRI装置は「オープン型」といつて、「トンネル型」と呼ばれるものに比べ圧迫感や恐怖感を感じることがあまりなく、MRI特有の検査中に出るカンカンという音も比較的小さいので、検査を受けられた患者様からも好評をいただいています。



赤穂奈津希技師

リラックスして検査を受けていただける環境だと思っています。

また、近年骨粗しょう症への関心が高まっています。この病気は骨の量が減ってくる病気です。特に女性は40歳あたりから骨の量が減ってきます。骨が弱くなってしまうと、ちょっとした転倒で骨折してしまつたりという事にもなります。

骨粗しょう症の検査にはいろいろな方法がありますが、当院では「右足のかかとに超音波をあてて骨の量を調べる方法」で行っています。簡単な方法ですが、骨粗しょう症を診断するにはたいへん重要な検査です。この検査は通常整形外科の診療で行われるものですが、岩美町の「健康祭りフレッシュフェスタ」でも毎年行っています。もちろん医師が結果説明していますので、ご自分の骨の状態を正確に知る事ができます。早期発見のためにもぜひ寄つてみて下さい。

最後に緊急時についてですが、病気やけがは突然やってくるものです。そのような時、一番最初に患者様のお役に立たなければならぬのは岩美病院であり、私たち病院職員で

4月1日より平成18年度がスタートしたことに伴い、医師の交代がありましたのでお知らせします。

診療科	区分	氏名
内科	退職	佐々木夏子 医師
	着任	岡本 健志 医師
小児科	退職	大谷 英之 医師
	着任	岡本 和子 医師
歯科・ 歯科口腔外科	退職	花池 泰徳 歯科医師
	着任	池田 貴之 歯科医師（3月1日より）

す。放射線室ではそのような緊急時に対応べく技師3名で待機体制をとっており、すぐ出勤できるようにしています。

以上、簡単に放射線室を紹介させていただきました。病気やけがなど無いに越した事はないのですが、こうした万が一の場合でも、放射線室はもちろんのこと各部署とも、夜間休日問わず24時間365日しっかりと対応していきますので、ご安心してお電話をいただければと思います。